

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 13日

事業所名 障害児通所支援事業 ふらわーず

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・法令を遵守したスペースを確保している。	・発達段階、年齢等に分けグループ活動(発達段階に応じた活動を提供→卒業を見据えたグループにおいては、事業所外での活動が多い)を行うなど、工夫している。
	2 職員の配置数は適切である	6			・法令で必要とされている配置数に加え、保育士、又は、児童指導員を配置している。	・毎日の職員配置は、5名としているが、急な会議・研修等で職員人数が減った場合、第一に利用者の安全を確保し、活動内容等の変更を行って対応。(令和2年12月より保育士が産休・育休になったため、その補充を探しているが中々難しいのが現状)
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1	3	・バリアフリーではないが、手すりがついている。また、トイレは、手が不自由な子でも開けやすくなっている。	課題)手すりなどの設置はあるが、重度の障害のお子さんを預かるだけのバリアフリー化は出来ていないし、それだけの事業所のスペースを確保することは、難しい →改善点:今の所、重度のお子さんの受け入れに関しては、保護者に見ていただいた上で、事業所を選んでいただいている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		・目標設定と振り返りは、全職員が関わり日々改善に努めようとしている。また、ミーティングを行いながら、全職員の意見を反映。	・ミーティングとは別に、管理者ではなく主任による個人々人への説明・対応を徹底しながら業務改善を行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		・事業所のホームページに掲載しているのと、年度最後の父母会において、保護者に配布し説明を行う。	・自己評価もだが、事業所の活動については、その都度、アンケートを行い、保護者と内容の共有を行っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		・HPにアップして公開している。HPを見られないご家庭の為に、事業所評価結果を印刷して各ご家庭に配付している。	・年度最後の父母会において、お子さんに行ってきた活動の報告と活動を実体験していただくなどしながら、事業所の評価も絡めてお話ししている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2	・外部評価は行っていない。	・今後の検討課題。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		・今年度は、コロナの影響で所外での研修参加は難しかったものの、正職以外にパート・アルバイトも一緒に「保育士」資格取得に向けて全員で勉強会を週1日時間を設けて行うことができた。次年度も何か目標を設定し、職員の資質向上に向けて独自の研修会を行っていきたいと思っている。	課題)「保育士」試験に向けて勉強会を事業所職員全員で行ってきたが、元々、教育分野や福祉分野の学びがない状態で勉強をしても思った結果が残せなかった。 →改善点:次年度は、取得資格のために助成金等の補助を受けながら、外部の機関への学びの場を進めていく。(現在、1名:保育の専門学校進学予定あり)
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・年に2回、個別支援計画を作成し、面談を行っている。その中で、子どものニーズと保護者のニーズを拾い上げ、再度、個別支援計画の見直しを行っている。	課題)面談を設定しても中々来られない保護者がいるため、次年度は、面談を相談支援事業所に協力していただきながら、相談支援事業所のモニタリングと一緒にできればと考えている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		・独自のアセスメントツールを作成し、使用している。	

]		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・事業所のミーティングの中から、活動の内容を出し合い、細かい流れについては、各担当に任せ役割分担をしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・年間計画を作成しており、その計画活動に向けてSSTや活動(宿泊学習)などを入れている。また、年度始め、夏休み以降、年度終わりなど、子供たちのリズムに合わせて活動プログラムにしている。	・年度末に次年度の利用希望と一緒に保護者の方にも事業所の活動に関する希望調査を行っている。そこに上がった活動も取り入れながら、家庭、事業所が連携しながらお子さんの支援に取り組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		・平日、土曜日、長期休日と予定表を作成し、細かく設定した活動を行っている。	・長期休暇に行う宿泊学習に向けて、一人一人のお子さんの状況に合わせ、目標を設定し、クラス編成を行いながら全員が目標に向かっていけるように支援している。また、発達に応じて【自立】を目指した活動の取り組みを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・お子さんのニーズに合わせた個別活動、集団活動を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・集団活動(レクリエーションなど)の流れを職員間で読み合わせし、共通理解のもと、活動に取り組んでいる。	・職員間の役割分担をしっかりと行い、活動においては、チームで行う意識をもって取り組んでいる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		・支援した当日でなく、次の日に行っている。また、送迎などでの引き継いで話のあった事への対応策等も一緒に共有している。また、活動記録の項目にない付加情報等を記入し、その日に気になったことを記入することで共有されている。	課題)活動の振り返りで少し足りない事もあるため、改善が必要と感じた職員がいる。 改善点:前年度の反省で上がった常勤職員のみでの振り返りから、パートやアルバイトも一緒に個々のお子さんの支援方法などについてもしっかりと振り返りを入れることができるようになったが、朝の短時間のみでは、納得いかない面もあるため、次年度は、週に1日は、しっかりと振り返りができる時間を取りたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		1	・日々の支援記録を徹底し、支援の検証・改善に繋げている。	課題)日々の記録は行っているが、記述式で時間がかかったり、次の日で書けないこともあるため、パソコン等で記録へ移行できればと考えているが、今のところ、PCに強い職員がいないこともあり、次年度、改善できればと考え中。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		・年に2回、モニタリングを行い、保護者には、面談でその旨を伝えていく。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2		・今年度は、ガイドラインの読み合わせは行っていないが、活動の基本はガイドラインを反映した取り組みになっている。		

]		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者とその子どもの担当も一緒に参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			・各学校との情報の共有は、忠実にやっている。また、連絡帳を共有しながら、お互いにやっている活動内容も把握する状況になっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2		・看護師常駐でない事と、よく動き回る利用者が多く、限られた施設内で受け入れるとなると受け入れは、難しいと思われる。	・現在、医療ケア(喘息発作)があり、医療的配慮の必要なお子さんはいるが、保護者との密な連絡調整と定期的に病院受診の状況を保護者から聞き、対応の方法を全職員で共有しながら対応に当たっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			・保育所等への送迎の際、情報の共有をしている。また、会議などへは、積極的に参加し、他事業所間との連携に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		・まだ、卒業生がいないため、実施していない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		・今年度は、コロナの関係で参加することは難しかったのですが、オンラインのセンター研修に関しては、全職員とパート・アルバイトも一緒に受講してアンケートなども提出している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	2	・今年度は、活動の一環として一般のサッカー大会に出場し子供たちも大活躍していた。地域で活動するための一歩を歩き出した。・今年度はコロナの影響で地域の児童館利用などを行うことができなかった。	・今後、利用者と共に、地域の活動に積極的に参加し、事業所発信の催しへと発展させていきたい。また、利用している子供たちの卒業を見据え、地域とのつながりを行っていききたい。(部活動に入りたいお子さんに同行し、安心して部活動に移行できるように担当職員が部活動見学、中の話や子供と保護者の代弁者として動いた)
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1		・連絡があった場合、積極的に参加している。	・もっと、地域に情報や子供の居場所を増やしていく為の発進していく為には、事業所として、地域の自立支援協議会を活性化していくお手伝いもしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・連絡帳にてその日の出来事を細かく伝えている。また、送迎時や電話で状況説明を丁寧に行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	2	・今年度は、コロナの影響でなかったが、前年度までは、保護者に対して、外部でのペアレント・トレーニング研修等がある場合は、案内を出している。	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		1	・契約時に説明。		

]		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・送迎時や連絡帳にて把握し、必要に応じて話を聞く機会を設けるようにしている。また、いつでも相談していただけるように、連絡があったら、時間を空けていつでも対応OKにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2		・子ども達の活動報告と年間の行事予定など、父母会を開催。保護者同士のラインも作っている。ラインに関しては、活動の報告など随時情報を発信している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・苦情などがあった場合、すぐに保護者や学校にも確認し、迅速に対応していると思う。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・毎月の予定表の他に、HP、「[ふらわーず]だ・よ・り」を不定期に配布し、情報発信している。	・令和3年2月でホームページを更新し、活動内容がいち早くわかる状態を作っている。(ホームページの中でブログも更新中)
	35	個人情報に十分注意している	6			・職員に関しては、事業所入社時に、【誓約書】を交わし、「個人情報事業所以外に持ち出さない」、「辞めた後も同様である」など、徹底している。事業所のデータについても、事業所外での使用を禁止している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・個々の障がいの程度に合わせた配慮を行っている。(ひらがなしか読めないご家庭の連絡帳は、見やすく間隔を開けながらひらがなで対応するなどしている)(視覚的に伝えた方が良いご家庭の場合、話をするときボードを用意し、話は事を要約してボードに記載し、確認作業をその都度行っていく)	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	1	・今年度は、コロナの感染対策で児童館に行くこともなく、発信もしていない。次年度は、地域の児童館利用や催しへ参加しながら、事業所から地域へ発信していきたい。	・地域の方々を招待するするまでには、至っていないが、まずは、事業所の活動で地域に出向く事を増やし、知っていただくことを優先にしている。

]		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	1	・平成31年3月に緊急時対応マニュアル等を設置。年度初めで、保護者には配付している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		・年に2回、避難訓練を行っている。 ・現在までに【地震・火災・不審者】の避難訓練を行った。今年度は、感染防止の方も活動の中に盛り込んだ取り組みを行った。	課題)真面目に取り組んでいないお子さんもいたので改善が必要と感じた。 改善点:利用しているお子さんに特化した内容の訓練にしていきながら、自分に振り返り、考えられる避難訓練にしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		・年度初めに、事業所内研修を行い、職員同士共通理解をしている。 ・今年度は、行けなかったが、事業所外の虐待防止の研修も毎年交互に受講している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		・事業所内研修で、身体拘束についての理解は、全職員出来ている。	課題)身体拘束の必要なお子さんがいないことで保護者に対して同意書を作っていなかったが、令和3年度から全利用者に関して身体拘束についての同意書を説明していく予定。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		・保護者からの連絡があった場合、対応(契約時に確認) ・保護者より要望のあった場合のみ配慮(アレルギー児のみ、医師の指示書提出をお願いしている)	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	1	・ヒヤリハットノートを作成し、いつでも職員が共有できる状況にしている。また、毎日のミーティングでヒヤリハットかな?と思われる事案に関しては、職員間で議論している。	課題)まだ、事例集の作成は、していないため今までのヒヤリハットのノートを整理して、事例集に行ければと思う。